



動物園や美術館などの文化施設を繋ぐ「ミュージアムロード」。  
 しかしその道は連続性や一体性が少なく、まだまだ文化を繋ぐ道として  
 活性、認知の余地があると思われます。  
 また、点在するアートはあるものの一時的な鑑賞に留まり、ただ通り過  
 ぎる空間となってしまっています。パブリックスペースに人が滞留する、  
 活気ある街並みとすることが求められます。

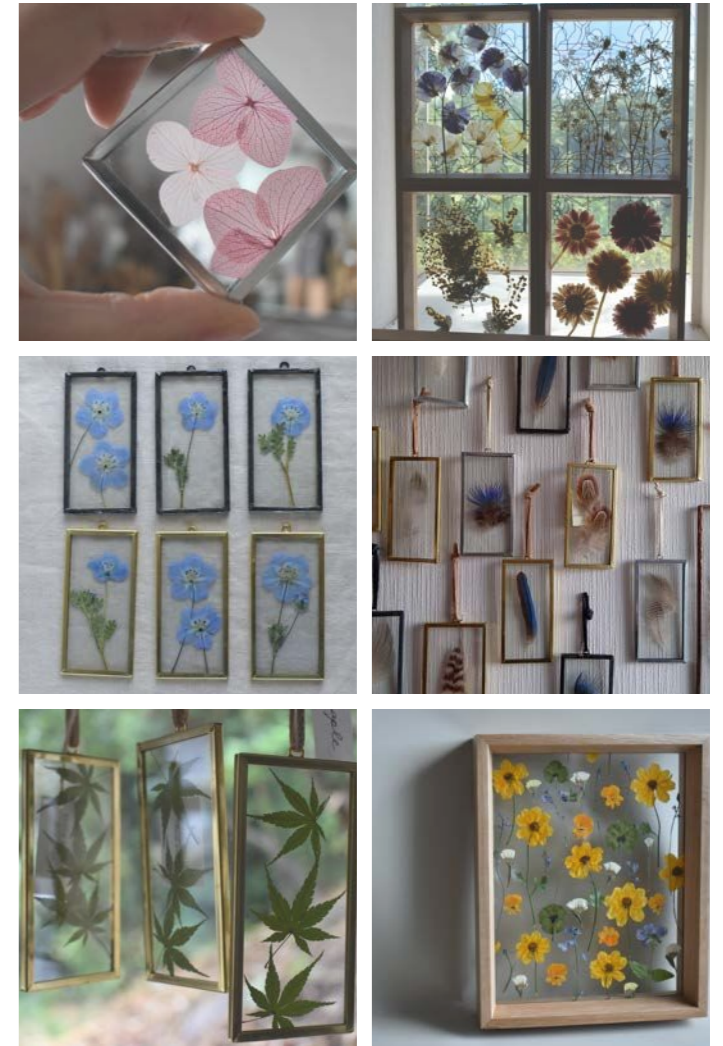
# 記憶の標本で紡ぐ

CONCEPT

私たちは押し花や植物で彩る芸術・文化の道を提案します。  
 街の人々とともにつくっていくモニュメントを設置し、年月が経つほどに街を染めていく。  
 一人ひとりの想いを宿した押し花のパーツは、記憶を未来へ紡ぐ「標本」となります。そして  
 それらが道を彩ることで、芸術・文化薫る「ミュージアムロード」へと育っていきます。  
 味のある色になった押し花とフレッシュな色を持つ新しい押し花が入り混じることで演出される時の流れ。  
 その移ろいに寄り添い、風景の変化を味わうことで深い愛着が生まれる道を目指します。

## 押し花の魅力

押し花は”想い”と”時間”という仕上げをまとい、  
 ゆっくりと完成されていく素材です。  
 保存された時の気持ちや楽しい思い出を蘇らせる押し花は  
 時を超えてそっと咲き続けていきます。

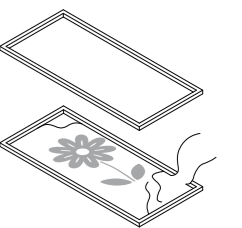


### DIAGRAM

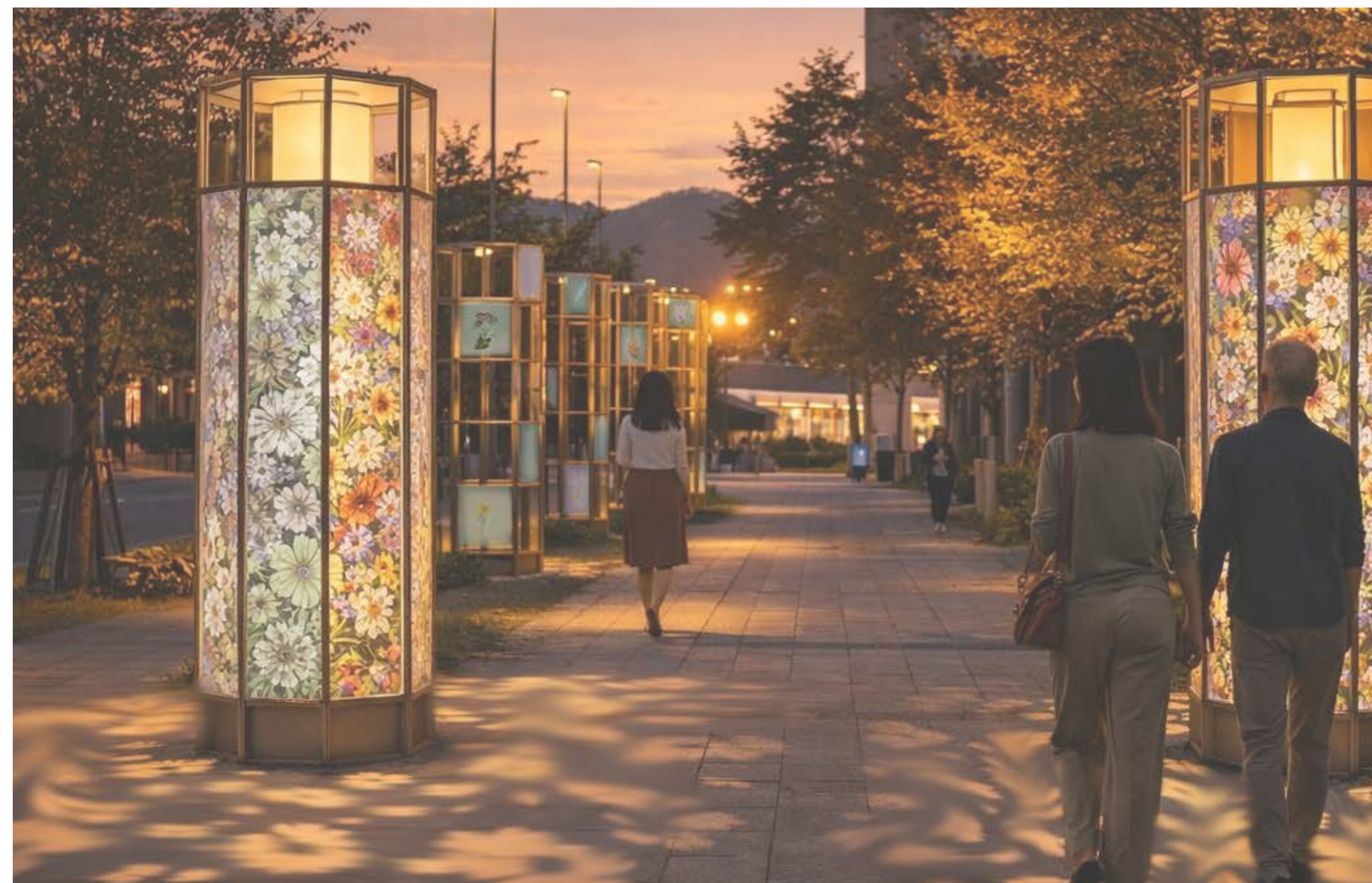
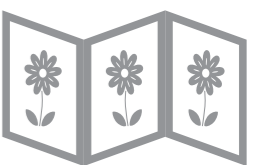
① 保存する植物を用意する



② 外部の環境でも耐えられるよう、  
アクリル・ガラスで封入する

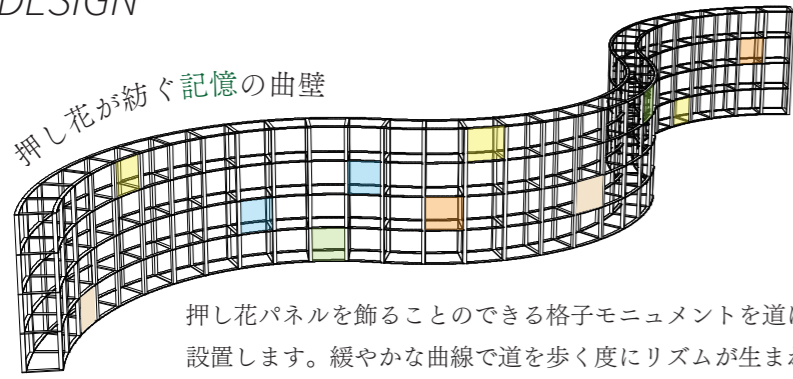


③ パーツを組み合わせて、  
モニュメントを作る



# DESIGN

押し花が紡ぐ記憶の曲壁



押し花パネルを飾ることのできる格子モニュメントを道に沿って設置します。緩やかな曲線で道を歩く度にリズムが生まれます。

## ▷真鍮

曲壁や灯の骨組みには押し花とともに経年変化を楽しめる真鍮素材を使用します。

## ▷アクリル・強化ガラス

植物を長く安全に保存するため、押し花をアクリルや強化ガラスで封入します。



街を照らす記憶の灯

駅周辺には押し花のガラスで囲んだ街灯を設置します。押し花は影となり、周囲を明るく華やかに照らします。

# 時間のデザイン

## 昼/夜



昼は太陽光によって押し花模様の影が色鮮やかに地面を彩る。また、夜はライトアップによって押し花を浮かび上がらせ、幻想的な街並みとなる。

## 経年変化



押し花として保存された植物は年月が経つことにその色合いを変えていく。経年の変化も楽しみながら、時間の重なりを感じられる街並みに。

# PLAN

## 王子動物園周辺

動物園周辺には動物や鳥の羽を挟みモニュメントに設置。解説をガラスに印字することでより動物や鳥に詳しくなり、周辺が一体となって動物とのふれあい地域となります。



## JR 灘駅周辺

人が多く行き交う駅前はライトアップして安心感を感じられる空間にします。また、クスノキなどの大樹をシンボルツリーとし、待ち合わせの目印として市民に親しまれる木になります。



## 岩屋駅～兵庫県立美術館

芸術の空気が漂う美術館までの道は、色鮮やかな花々を配置します。経年変化で色が変わった後も、その深みのある色と可憐な形で道を彩ります。



## シンボルツリー

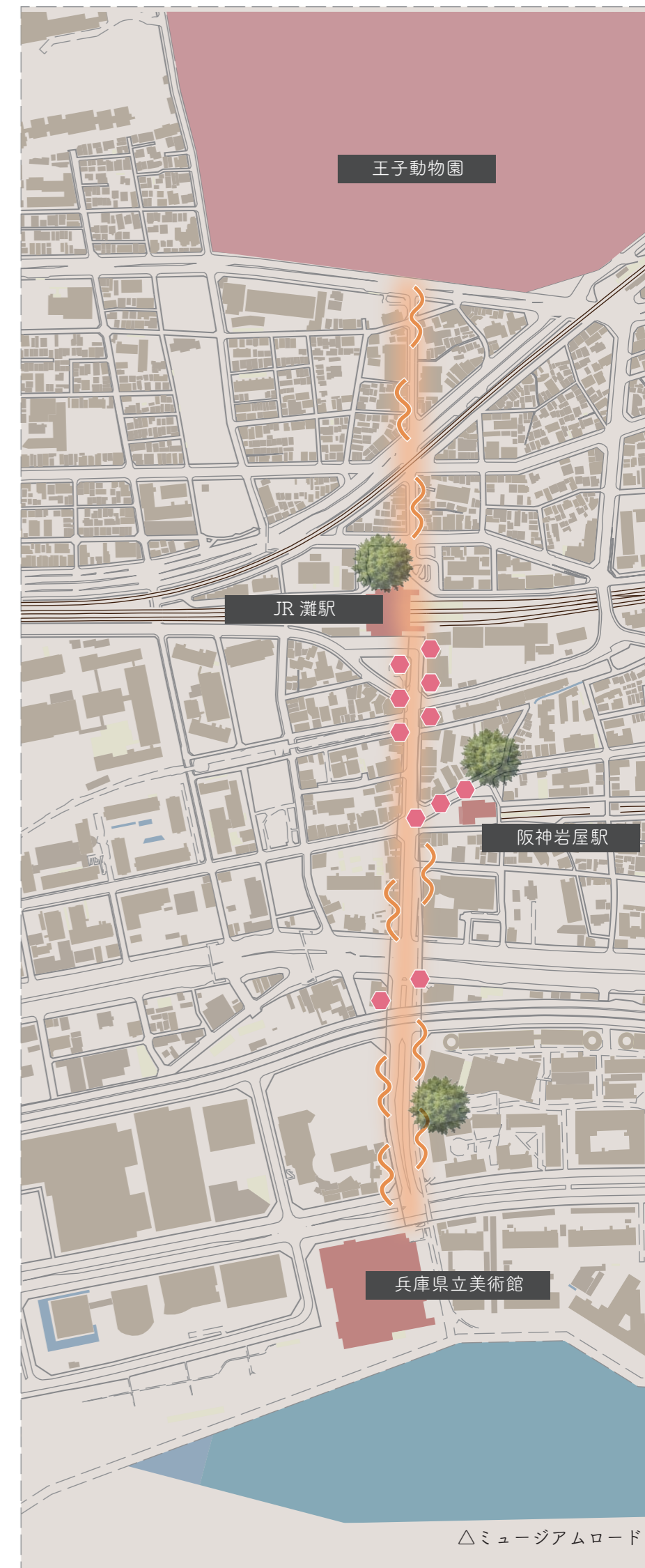


各所には大樹を植え、街のシンボルツリーとします。木の成長とともに街も成長していく、地域のアイコンとなります。

## 花壇



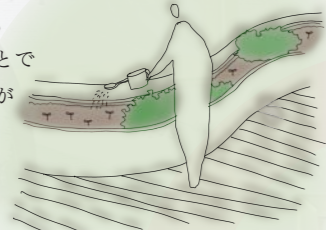
生きた花も道の各所に配置します。一部はまた押し花として記憶をその街にとどめます。



# COMMUNITY & FUTURE

## ① 育てる

灘区や神戸にゆかりのある植物を街の中で育てます。市民も参加することで街を大切に作る心が芽生えます。



## ② 集める

人々が植物を持ち寄る場所を作ります。メッセージを書いたり日付を書いたり何年先も残していきたい想いを込める過程です。



## ▷ Flower Event

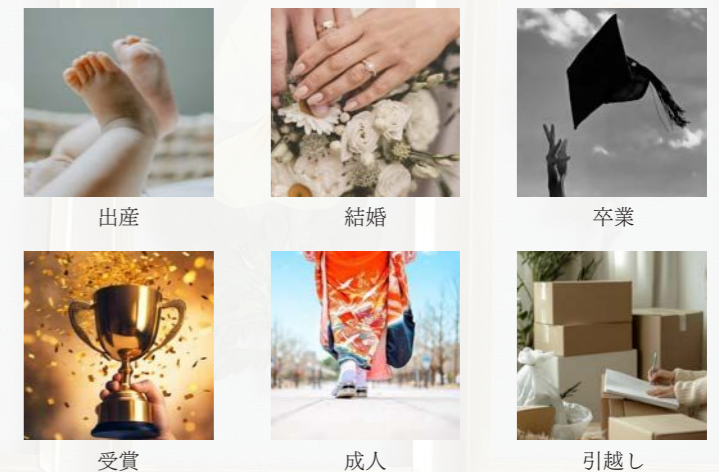
年に1回、花の祭典を開きます。神戸市のインフィオラータに合わせ街をあげた花のイベントとし、鮮やかなお祭りとなります。マルシェやワークショップも開催し、賑わいで街を満たす1日となります。思い出の花を一齐に集める機会ともなり、遠方の人も思い出をこの地に残していきます。



## ▶ 記念日の想いを未来へ残す

出産や結婚式、卒業式など人が花をもらう瞬間は幸せに溢れています。そんな気持ちをこの先も思い出せるよう、それぞれの記念の想いを込め、植物をパーツに保存します。年を経てまたこの道を歩いて自分のパーツを見つけた時、その時の幸せな気持ちがよみがえる、そんな想いが詰まった道をつくります。

### 人生のイベント



## 参加型のまちづくり

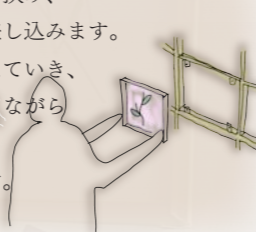
## ④ 鑑賞する

パーツで彩られたモニュメントで歩きたくなる街づくりをします。押し花パーツを通して眺める街は借景アートとなり、街全体がミュージアムとなります。



## ③ 展示する

集めた植物はガラスで挟み、街のモニュメントに差し込みます。少しずつパーツが増えていき、街の彩りは増していきながら植物の経年変化で時の重なりを感じます。

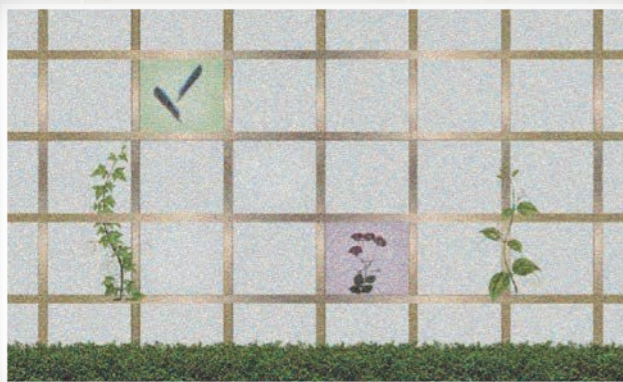


## 20年ロードマップ

今

10年後

20年後、その先へ



突如現れたモニュメント。人々が参加することによって徐々に街に認知され溶け込んでいきます。

少しずつ増えていく植物や押し花で街は色を増やしていきます。自分が展示したパネルを見つけて嬉しい気分になります。

世代を超え、経年変化した植物と新しい彩をもった植物が混ざり合い、時間の重なりを感じる空間となります。

人々の想いは彩りとなり風景の記憶を重ねていく。街と共に紡ぐミュージアムロード